

地域再生計画の新旧対照表

新	旧
<p>1～4 略</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1)全体の概要</p> <p>急峻な地形のため、災害時等に河川への土砂流出が頻繁に起こっており、ホタル等の生態系にも影響を与えている状況であるが、県土木による環境に配慮した水防災事業が計画されており、近年に着工予定である。</p> <p>こうした状況のなか、清流と自然美を活かしたふるさとづくり再生計画を達成するためには以下の事業を総合的に実施する。</p> <p>交通網の整備については、市道認定された「曾立・臼杵線」の改良・舗装及び市森林整備計画に記載された林道「可愛岳線」の開設、「鑑・上赤線」・「俵野・黒原線」の舗装を実施し、安全な通行を確保するだけでなく、市の主要観光施設及び、ホタルまつり等イベントのアクセス道路としての機能を果たし、さらに、災害時等の河川への汚濁流入防止及び、林産物の市場への搬出時間の短縮が見込まれるため道路整備を図る。</p> <p>河川整備については、清流と自然美を後世に残していくためにも、今後も更に合併浄化槽設置の普及を図り、ホタル等の生態系に影響を与えないよう整備を図る。また、ホタルまつりの充実を図ることにより、自然と人、人と人が豊かにふれあえるふるさとづくりを目指す。</p> <p>(5-2)法第5章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>②道整備交付金を活用する事業</p> <p>[施設の種類 (事業区域、実施主体)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道 (延岡市、延岡市)</li> <li>・林道 (延岡市、延岡市)</li> </ul> <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道 (平成19～22年度)、・林道(平成17～21年度)</li> </ul>	<p>1～4 略</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1)全体の概要</p> <p>急峻な地形のため、災害時等に河川への土砂流出が頻繁に起こっており、ホタル等の生態系にも影響を与えている状況であるが、県土木による環境に配慮した水防災事業が計画されており、近年に着工予定である。</p> <p>こうした状況のなか、清流と自然美を活かしたふるさとづくり再生計画を達成するためには以下の事業を総合的に実施する。</p> <p>交通網の整備については、市道認定された「曾立・臼杵線」の改良・舗装及び市森林整備計画に記載された林道「可愛岳線」の開設、「鑑・上赤線」・「俵野・黒原線」の舗装を実施し、安全な通行を確保するだけでなく、市の主要観光施設及び、ホタルまつり等イベントのアクセス道路としての機能を果たし、さらに、災害時等の河川への汚濁流入防止及び、林産物の市場への搬出時間の短縮が見込まれるため道路整備を図る。</p> <p>河川整備については、清流と自然美を後世に残していくためにも、今後も更に合併浄化槽設置の普及を図り、ホタル等の生態系に影響を与えないよう整備を図る。また、ホタルまつりの充実を図ることにより、自然と人、人と人が豊かにふれあえるふるさとづくりを目指す。</p> <p>(5-2)法第5章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>②道整備交付金を活用する事業</p> <p>[施設の種類 (事業区域、実施主体)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道 (延岡市、延岡市)</li> <li>・林道 (延岡市、延岡市)</li> </ul> <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道 (平成19～21年度)、・林道(平成17～21年度)</li> </ul>

[整備量及び事業費]

- ・整備量 市道 0.36km、林道 13.05km
- ・総事業費 594,400千円 (うち交付金 297,200千円)
  - 市道 79,400千円 (うち交付金 39,700千円)
  - 林道 515,000千円 (うち交付金 257,500千円)

(5-3) その他の事業

区域では、地形的条件により下水道整備が困難なため、補助金として合併浄化槽の設置事業を行っており、河川の水質汚濁防止に努めている。また、毎年行う、河川一斉清掃の強化を図り、河川環境の保護に努めるとともに、ホタルまつり前にホタルの棲息調査を行い、ホタルマップ等を作成し、ホタルまつりの充実を図り、さらに、落水の滝・黒内の滝等に遊歩道を設置し、自然に親しむ空間の整備を図っていく。

また、『わるこつぼうず大学』と銘打って、清流北川をメインに昔ながらの、「伝統漁法」・「カヌー教室」が行われており、さらに、夏まつりには「魚のつかみどり」等の、北川を利用した催しが開催されており、こうしたソフト事業を、今以上に有効活用を図る。

6 計画期間

平成17年度～平成22年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

本計画の目標達成に係る評価については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握し公表するとともに、関係行政・団体等と「地域再生協議会」を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項等の検討を行なうこととする。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし

[整備量及び事業費]

- ・整備量 市道 0.36km、林道 10.20km
- ・総事業費 594,400千円 (うち交付金 297,200千円)
  - 市道 79,400千円 (うち交付金 39,700千円)
  - 林道 515,000千円 (うち交付金 257,500千円)

(5-3) その他の事業

区域では、地形的条件により下水道整備が困難なため、補助金として合併浄化槽の設置事業を行っており、河川の水質汚濁防止に努めている。また、毎年行う、河川一斉清掃の強化を図り、河川環境の保護に努めるとともに、ホタルまつり前にホタルの棲息調査を行い、ホタルマップ等を作成し、ホタルまつりの充実を図り、さらに、落水の滝・黒内の滝等に遊歩道を設置し、自然に親しむ空間の整備を図っていく。

また、『わるこつぼうず大学』と銘打って、清流北川をメインに昔ながらの、「伝統漁法」・「カヌー教室」が行われており、さらに、夏まつりには「魚のつかみどり」等の、北川を利用した催しが開催されており、こうしたソフト事業を、今以上に有効活用を図る。

6 計画期間

平成17年度～平成21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

本計画の目標達成に係る評価については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握し公表するとともに、関係行政・団体等と「地域再生協議会」を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項等の検討を行うこととする。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし